

東通村の中心地活性化 東通村役場周辺について

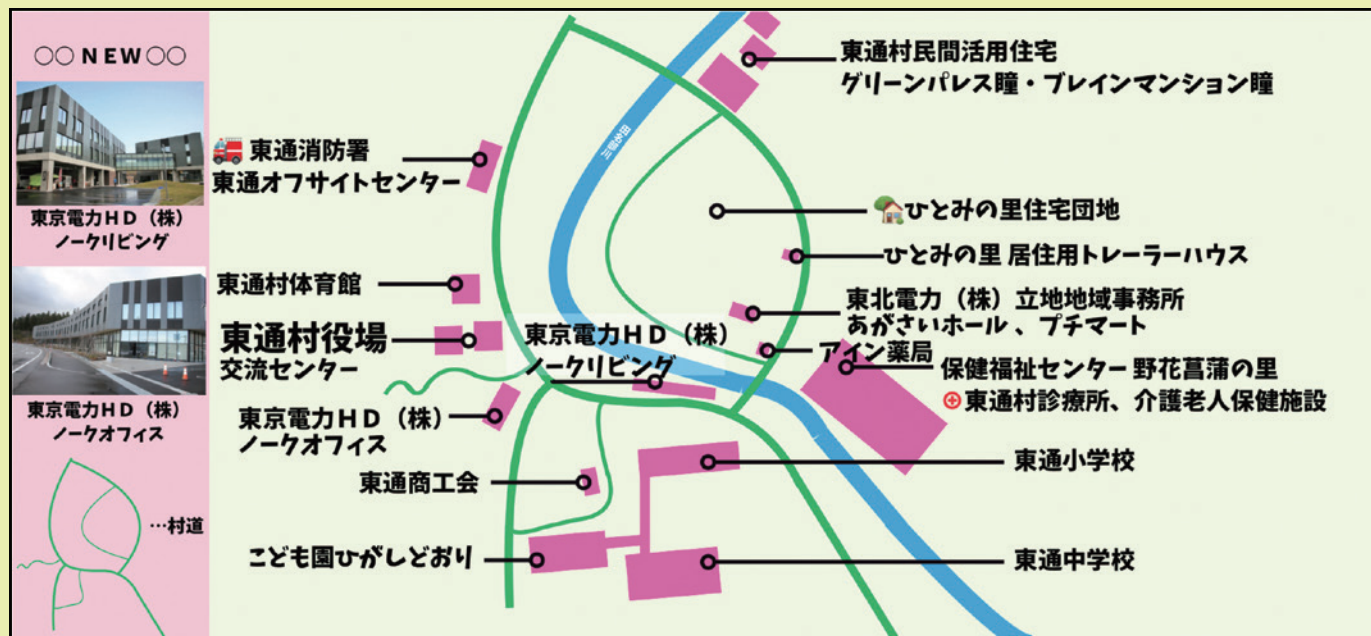


東通村役場の周辺には、学校や診療所、消防署等の公共施設や、ひとみの里住宅団地が集まっています。1988年、村の中心地へ役場の移転を機に、役場周辺は公共施設や住環境の整備が進められてきました。

近年では、移住希望者に便利な「ひとみの里居住用トレーラーハウス」が整備されたほか、東北電力（株）東通原子力発電所立地地域事務所や、立地地域事務所に併設された「あがさいホール」、小規模スーパー「プチマート」が加わりました。また、昨年12月からは、東京電力ホールディングス（株）の複合施設「nooqu（ノーク）」の運用が本格的に始まり、村の中心地は、地域の交流や生活の利便性が高まってきています。

役場では、周辺の各施設や関係機関と連携し、平時から災害時まで、村民の皆さんが安心して暮らせる中心地活性化を進めていきます。

役場周辺マップ 2025年12月1日現在



nooqu（ノーク）ってどこ？

ノークとは、東京電力ホールディングス（株）青森事業本部の新たな拠点施設です。

小田野沢地区にある建設所に加え、砂子又地区に新設された建物です。東通村役場の南側に位置する建物がオフィス棟「ノーク オフィス」、東通小学校向かいに整備されたのが、宿舎機能を持つ「ノークリビング」です。

この2棟には、地域クラブ活動の発表やイベントを行える屋内広場、読書を楽しめる「よりみちブック」といった無料で利用できる施設のほか、の〜く食堂をはじめ、勉強や仕事に利用できるラウンジスペース、コインランドリー等があり、地域の賑わいづくりを図るため、住民の皆さんにも、一部有料で一般開放されています。

